

## 発刊のことば

天皇皇后両陛下をはじめ多くの皇室の皆様方の御臨席を仰ぎ、「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンに開催いたしました第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」(本大会・冬季大会)及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」は、両大会合わせて約46万人の方々に御参加いただき、大きな感動とともに成功裏に終えることができました。

これもひとえに、全国から参加され熱戦を繰り広げた選手・役員 等の関係者をはじめ、長年にわたる開催準備と大会運営に御尽力を いただいた市町や競技団体、関係諸団体、御協賛をいただいた企業・ 団体、大会運営を支えていただいたボランティア、会場や国体チャ ンネルを通じて応援していただいた県民など、両大会を様々な形で 支えていただいた多くの皆様方の御支援・御協力の賜であり、心か ら感謝申し上げます。

両大会においては、コロナ禍の中、万全の感染防止対策を講じ安全・ 安心な大会運営に努めながら、開・閉会式や競技会場等において「い ちご一会」(一期一会)を大切にした日本一のおもてなしと県内企業 の技術力を活かした環境配慮の大会運営に取り組み、栃木県の多彩 な魅力・実力を全国に発信できたと考えております。

競技成績については、国体では男女総合、女子総合ともに第2位、 障スポでは過去最多となる144個のメダルを獲得するなど素晴らし い成果を収め、県民に感動や勇気を、子どもたちに大きな夢を与え てくれました。また、障害の有無にかかわらず、スポーツはすべて の人が楽しめるものであることを実感させてくれました。

県民の総力を結集して臨んだ両大会を通じて培われた、スポーツをする・みる・支えることへの関心の高まりや競技力の向上、障害者への理解など、様々な有形・無形のレガシーを確実に継承し、「新しいとちぎ」づくりにつなげて参ります。

結びに、両大会が残した成果と感動が末永く後世に語り継がれることを願い作成しました本報告書が、今後の更なるスポーツ・パラスポーツの振興や共生社会の実現などに広く御活用いただけますことを祈念申し上げ、発刊のことばといたします。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会会長

栃棉知事 福田富一



公益財団法人日本スポーツ協会 会 長 **伊藤 雅俊** 

## 発刊に寄せて

那須高原や華厳の滝など四季折々の豊かな自然に囲まれ、日光東 照宮をはじめとした世界遺産やユネスコ無形文化遺産など世界的に も有名な栃木県において3年ぶりの開催となりました第77回国民 体育大会は、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、多くの成果と深い感 動を残し、盛会裏にその幕を閉じました。

開催に際し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をはじめ、諸 準備にご尽力をいただいた役員、係員、ボランティアの皆さん、大 会を応援いただいた栃木県民の皆さん、ご支援をいただきました協 賛社様、関係機関・団体の皆様に対し、心から感謝を申し上げます。

総合成績では、天皇杯、皇后杯の獲得という輝かしい成績を収め た東京都選手団にお祝い申し上げます。

また、栃木県選手団の男女総合成績および女子総合成績ともに第 2位という成績は、栃木県での国体の開催が決まって以来、長年に わたり栃木県民一丸となって歩まれた努力が結実したものであり、 各競技で活躍された選手団の皆さんに対し、心から賛辞をお贈りい たします。

この大会には、世界で活躍する多くのトップアスリートが郷土の 代表として参加し、各競技とも熱戦が繰り広げられました。

選手の皆さんが全力でプレーする姿は、全国の方々に夢と希望を 与え、スポーツの魅力を全国に発信した大会となりました。

全国各地から参加された選手団は、栃木県の皆さんからの心温まるおもてなしと熱い声援を受け、貴重な思い出を胸に帰郷されたことと思います。

選手の皆さんには、この大会で得た貴重な経験を活かし、今後益々のご活躍により、スポーツがあらゆる人々に一切の差別、格差なく享受され、誰もが望む社会の実現に貢献いただくことを願っております。

結びに、この報告書が「いちご一会とちぎ国体」の貴重な記録として、スポーツの推進に広く活用されますことを祈念し、発刊に寄せるあいさつといたします。

;



公益財団法人日本パラスポーツ協会 会長森 和之

## 発刊に寄せて

秋篠宮皇嗣同妃両殿下、佳子内親王殿下、高円宮妃殿下の御臨席 を賜り、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が、 かくも盛大に開催できましたことを心より感謝申し上げます。

全国障害者スポーツ大会は、今回4年ぶりの開催となり、選手、 関係者の皆さまにとって待ち望んだ大会となりました。大会期間中 は天候にも恵まれ、大変素晴らしい大会となりました。これもひと えに実行委員会をはじめ、関係者の方々、また大会を応援いただい たすべての栃木県民の皆さまのご尽力のお陰であり、心より敬意を 表する次第です。

本大会では、「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンに、選手の皆さまの持てる力と技を出しきり、各地で熱戦が繰り広げられました。参加された選手の皆さまは、本大会を通じ選手同士の交流や、栃木県民の皆さまとの交流も深められたものと思います。選手の皆さまには今後もスポーツを楽しみ、さらに自身の記録、限界に挑戦されることを期待いたします。

本大会では、ボランティアの方々をはじめ多くの方の温かいお心 遣い、ご協力により大会運営も大変スムーズに進みました。大会に ご協力いただきました皆さま、開閉会式や各競技の観戦にお越しい ただいた多くの皆さまの熱い思いは選手に伝わるとともに、皆さま のパラスポーツへの理解を深めていただくことができたものと確信 しております。この熱い気持ちを今後さらに全国へ広げて参りたい と思います。

当協会では、「2030年ビジョン」を策定し、「活力ある共生社会の 実現」を目指しております。本大会を通じ、その実現に向け着実に パラスポーツの振興が進められるものと確信しております。

終わりに、栃木県民の皆さまの心温まるご支援に感謝申し上げますとともに、本大会の開催にあたりご尽力くださいました多くの関係者の皆さまに心より厚く御礼申し上げます。

そして、多くの思い出に輝く「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会報告書」が、今後、わが国のスポーツの普及・発展に役立つ貴重な資料として活用されますことを祈念し、発刊に寄せるあいさつといたします。



文部科学大臣永岡 桂子

## 発刊に寄せて

「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンとして、豊かな自然の魅力にあふれ、悠久の歴史と文化が息づく栃木県において実施されました第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が、多くの成果と感動を残し、成功のうちに閉会しましたことを心からお喜び申し上げます。

これもひとえに、栃木県民の皆さんが、参加する全ての人をおも てなしの心で温かく迎える大会となるよう、県をあげて諸準備・運 営に当たられた賜物であり、その御尽力に深く敬意を表します。

また、参加された選手の皆さんが、日頃鍛えた力と技を存分に発揮し、栃木県内各地で繰り広げられた熱戦の数々により、全国の皆さんへ、大きな感動とスポーツのすばらしさを伝えることができました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が残る中、両大会に おける栃木県選手団の活躍は目を見張るものがありました。「いちご 一会とちぎ国体」では栃木県は男女総合・女子総合とも第2位とい う成績を収め、前回大会から大躍進されました。「いちご一会とちぎ 大会」では、過去最多となるメダル 144 個を獲得され、大会を盛り 上げ、障害者スポーツの普及・発展に大いに寄与されました。これも、 選手の皆さんと選手を支える方々の長年にわたる地道な御努力が結 実したものであると思います。

今後、2024年パリオリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ、様々な国際大会が開催されますが、今大会に出場された選手の中から、世界の舞台へ羽ばたくアスリートが数多く輩出されることを期待しております。

結びに、本報告書が、「いちご一会とちぎ国体」「いちご一会とちぎ大会」の足跡を示す記録として、また、我が国のスポーツの普及・発展に寄与する貴重な資料として、広く活用されることを祈念し、発刊に寄せる挨拶といたします。